



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「公共R 不動産のプロジェクトスタディ: 公民連携のしくみとデザイン」
馬場 正尊 他6名(著)、公共R不動産(編集) 学芸出版社(出版)



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



今、日本のさまざまな街で公共空間再生や民間による公共空間の活用が加速しています。また、制度改正等により規制緩和が進み、公共空間の使い方の可能性が広がり、行政と民間の連携も進化されています。

本書では、「①プロジェクト・スタディ」「②インタビュー」「③コラム」「④妄想企画」の4つのコンテンツで構成されており、「①プロジェクト・スタディ」では、公共空間を実験的/暫定的/本格的に使うまでを4段階に分け、ノウハウやテクニックを事例紹介しています。また「④妄想企画」では、ワクワクするような新たな官民連携の手法を提案しております。

全体を通じて、国内外のリノベーション活用事例や豊富な写真、ダイアグラムによりわかりやすく解説されています。また、既に実現された「妄想」もあるようで、実施に向けてのアイデアが詰まった一冊です。官民連携まちづくりを実践されている方、これからされる方は、ご一読してみたいはいかがでしょうか。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

安中市 都市整備課 五十貝 遼
(現:安中市 農業委員会事務局)



五十貝 遼さん(左から2番目)



講座の様子

非常に難しい役割であることがわかりました。

この講座の特徴は、現地視察や演習がとても充実しており、本番さながらの模擬ワークショップが体験できることだと思います。今後は、学んだ技術を業務に活かしていきたいです。

平成30年度に「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」を受講しました。

受講した当初は、ファシリテーターという言葉の意味も知らず、漠然と、『参加者から意見を引き出す人』という認識でした。しかし、実際は単純なものではなく、そのワークショップが目指すべきゴール(目標)を定め、ゴールに向かうためのシナリオ(過程)を考え、制限時間に完結するようスケジューリング(時間配分)するという、非

マーチィの掲示板

県・市町村人事交流を終えて



土屋 和樹(甘楽町→群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室企画推進係)

平成30年4月より人事交流職員として県都市計画課に配属され、二年が経ちました。

最初は都市計画の都の字もわからないような状態で、ものすごく不安でしたが、皆様の暖かいご指導のおかげで無事に派遣期間を終えることが出来ました(今でも都市計画のことはよくわかりませんが…)。

業務を通して、県内・全国の市町村のまちづくりの事例を知ることができ、大変勉強になりました。また、県でなければ味わえないこともたくさん経験させていただき、大変貴重な時間を過ごすことができました。

この二年間でできた人との繋がりがや学んだことを活かせるよう、甘楽町に戻っても精一杯頑張りたいと思います。

県・市町村の皆様、二年間大変お世話になりました。



小林 弘幸(邑楽町→群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室企画推進係)

邑楽町から企画推進係で1年間お世話になりました小林です。

県でまちづくりの仕事に関わらせてもらい、町で仕事をしているだけではなかなか気づけなかった、県内の様々なまちづくりの取組みに「えっ、そんなこと出来るの!？」と衝撃を受けることが何度もありました。そんな中で、自分のまちでも取り入れられる取組み、そのままでは取り入れることが難しい取組みなど、そのまちの個性にあったまちづくりをすることの難しさも実感することが出来ました。邑楽町に戻っても、自分の住むまちのまちづくりに、県で経験したことを少しでも生かせるよう頑張りたいと思います。

毎日分からないことだらけで、バタバタとあっという間の1年でしたが、同じ職場の方や各市町村の担当の方など本当に多くの人に恵まれ、充実した1年を過ごすことが出来ました!ありがとうございました。

